

◎熱帯林業講座◎

害虫で1世代2~3カ月である。*Cassia auriculata*, *C. fistula*, *Dalbergia sisso*, *Terminalia tomentosa* などの樹木につく。*T. sinensis* Walker は南部、東部アジアに分布し、多食性で草や他の下層植生に多く、樹木の葉も加害する。*Aleurites fordii*, *A. montana*, ゴムノキ、マンゴなどが記録されている。幼虫は体長25mmになり、灰緑色で変化ある色の線と毒毛をなえる。ジャワでは卵から成虫になるまで10~14週間かかる。蛹化は落葉層中である。ジャワとフィリピンで大発生したことがある。*T. tripartita* Moore はインドでサル (*Shorea robusta*) の葉を加害した記録がある。

新刊紹介

◎熱帯の造林技術 浅川澄彦 A6版 117pp. (財)国際緑化推進センター。東京。1992.3.15刊, 頒価800円(実費・送料)

本書は(財)国際緑化推進センターが、同センターの研修や海外林業協力を携わる人たちに活用できるテキストとして刊行されたものである。その著者は元・農林水産省林野庁林業試験場(現・森林総合研究所)造林部長、現・玉川大学農学部を歴任の浅川澄彦教授で、氏はその間JICA長期専門家としてフィリピン・パンタバンガン森林造成プロジェクトほか数多くの海外緑化援助事業に従事され、またJICAの熱帯・亜熱帯研修講義を筆者の後をうけて多年にわたって担当されている。

さて、近時熱帯造林に関し、しばしば二者択一の見解を主唱される向きもあるが、熱帯地域の環境・経済・社会状況、あるいは森林に指向する機能は、地域により極めて多様であり、それらに対応する造林技術は偏向した一辺倒の技術のみによって果たされるものではない。本書は上述した著者の豊かな体験を通じて、多様な熱帯造林技術を科学的基盤にたって、「植栽樹種・育苗・植栽・保育・そのほかの森林造成法・主要な天然更新法」の大項目に従って極めて要領よく解説されたものである。ただし、広範にわたる多様な技術を117ページの小冊子に詳細網羅することは容易でないので、内容は各種技術等について長所短所・適応性に関する知識を述べ、実践にあたっての読者の判断の手引きとされているものである。したがって、熱帯・亜熱帯の事業に初めて携わる方々への技術入門書として、またその経験をもたれる方々には技術整合性の再確認書として役立つものであり、是非一読をおすすめしたい。(坂口勝美)